

ご利用のてびき 2017

博物館活用事例集⑬



学校見学

出前授業

貸出キット

職場体験

イベント参加

子ども学芸員

etc.



 **かいじあむ**
YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM
山梨県立博物館

企画交流課

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
TEL.055-261-2631 FAX.055-261-2632
<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

目 次

1 博物館を学校で活用する

- p. 1 山梨県立博物館について
- p. 2 どのような活用方法がある？
- p. 3 博物館に行ってみる（観覧しての学習）
- p. 11 博物館に行ってみる（庭の活用）
- p. 13 貸出教材（ミュージアム・キット）を活用してみる
- p. 18 出前授業を活用してみる
- p. 23 職場体験・インターンシップの実習

2 各種博物館事業について

- p. 24 かいじあむティーチャーズクラブについて
- p. 29 子ども学芸員事業のご案内
- p. 30 「大好きな山梨を描こう」絵画作品応募について
- p. 31 定期イベントのご案内
- p. 32 平成29年度 企画展・シンボル展のご案内

3 実践事例の紹介

- p. 33 ティーチャーズクラブの先生方より
「ミュージアムキット」の活用について
笛吹市立石和西小学校 長田 る美・河西 佑哉
山中湖村立山中湖中学校「博学連携」について
山中湖村立山中湖中学校 萱沼 宏彰
笛吹高校「博学連携」活動について
山梨県立笛吹高等学校 河西 倫孝
- p. 42 信玄堤めぐり
- p. 43 山梨県立博物館の活用方法

山梨県立博物館について

(博物館の紹介)



山梨県立博物館は、子どもから高齢者までが世代を超えて交流し、歴史と文化を学ぶ場、そして情報発信の場として、山梨県笛吹市に、平成17年(2005)10月15日に開館し、今年開館12周年を迎えます。

本博物館は、基本テーマである「山梨の自然と人」を活動の基本におき、山梨の

豊かな自然と人々がどのように向き合ってきたのかという歴史を総合的に調査研究し、それらの成果をこれからの地域振興の重要な指針として提示できるような博物館を目指したいと考えています。

(博学連携)

山梨県立博物館の目指す大きなテーマの1つに『博学連携』があります。博物館と学校とが望ましい形で連携、協力を図りながら、子どもたちの教育を進めていこうという取り組みです。開館以来、子どもたちが郷土の歴史に興味を持ち、郷土への愛着を抱くことを目指して、学校と博物館とが協力して、博物館の「もの」や「ひと」や「情報」を積極的に活用することに努めてきています。



平成23・24年度と笛吹市教育委員会の協力のもと、笛吹市の小中学校と連携しモデル事業を行いました。また、笛吹高等学校との博学連携として、「博物館を利用した郷土研究」や博物館の「古代の畠」による農作業などを行っております。『かいじあむティーチャーズクラブ』も会員数が約2700名を超え、多くの先生方が入会しており、教育活動に生かしております。

どのような活用方法がある？

①博物館に児童生徒を連れて行く 3・10・22ページ

平成27年度には、のべ小学校61校、中学校35校、県立学校9校、その他16校合計121校あまりが来館し、見学や学習を行いました。

☆具体的な利用例

- ・遠足、県内巡りなどの学校行事
- ・社会科見学、教科等での校外学習
- ・支援学級における生活単元学習
- ・職場体験学習（インターンシップ）
- ・親子活動（PTA活動など）



②博物館の「もの」を使ってみる 12ページ

学校への貸出教材〔ミュージアム・キット〕をご用意しています。

③博物館の「ひと」を使ってみる 17ページ

博物館職員が学校におじゃまして〔出前授業〕を行っています。社会科や総合的な学習の時間、博物館見学の事前学習、親子学習会、PTA研修会、教職員研修会などにご利用いただいています。費用はかかりません。先生方のねらいに応じた内容で可能な限り対応致しますので、ぜひご相談ください。

④まず先生が博物館に親しんでみる 23ページ

→ [2 ティーチャーズクラブについて](#)をご覧ください

⑤研究会や校内研などによる先生方の視察

博物館では先生方の研修による視察を受け入れています。企画交流課までお問い合わせください。

※その他ご不明な点などがありましたら、お電話等でお問い合わせください。

（企画交流課 TEL 055-262-1278）

博物館に行ってみる（観覧しての学習）

1 学校見学予約票をFAX送信後、電話でお問い合わせください。

4 ページの予約票をコピーするか、当館ホームページ上で予約票をダウンロードして、必要事項を記入の上、当館にFAX送信後、電話をしてください。（055-262-1278・教育主事）その際、見学予定日が開館日かどうか、**11 ページのカレンダー**でご確認ください。（火曜休館の他、臨時休館があります。）

2 下見においでください。

原則として、下見を実施してください。先生方の指導意図を聞いて、見学メニューを決めたり、見学上の注意事項を確認したりします。希望があれば先生方へのガイドも行います。

3 『観覧料等免除申請書』をご提出ください。

5 ページの申請書をコピーするか、当館ホームページ上で申請書をダウンロードし、**6 ページの見本**を参照して、必要事項を記入の上、職印の押印をし、郵送または、下見の際に直接ご提出ください。（提出期限は、実施日の2週間前までです。）→先生方の観覧料を免除するためです。

※引率者がティチャーズクラブ会員の場合は、申請書は必要ありません。

4 来館日

1時間40分間が標準的な滞在時間です。標準的な見学メニューは、「オリエンテーション（5分）→常設展ガイド（30分）→ワークシート（30分）→体験学習コーナー（30分）→終わりのあいさつ（5分）」です。この他に、企画展見学・オリジナル映画（地方病・水害・戦争：各10～15分）・紙芝居上演などのメニューがあります。なお、**ワークシート**については、当館ホームページにて公開していますので、各校でご用意ください。（**7～9 ページの資料**をご参照ください。）

5 博物館を利用してのご感想、ご意見などをお寄せください。

来館時にアンケート用紙をお渡しします。現場の先生方の意見や感想を、今後の運営に生かしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

6 その他

- 昼食場所は、原則として当館の芝生広場となっております。雨天時等の昼食場所については、下見の折にご相談ください。
- 当館の近隣施設としては、「ぶどう園（ぶどう狩り）・金川の森・万力公園・フルーツ公園・和菓子工場やワイン工場（3年）・やまなし伝統工芸館（4年）・峡東浄化センター（4年）釈迦堂遺跡博物館（6年）」などがあります。

山梨県立博物館 学校見学予約票

課長	教育主事

送信月日	平成 年 月 日
------	----------

対応者	教育主事 ()
-----	----------

*FAX を送信してから、お電話での連絡をお願いします。FAX：055-261-2632 TEL:055-262-1278

*太線の中のみ記入してください。

*山梨県内の各学校は、観覧料免除の申請書を2週間前までに提出してください。(郵送可)

(引率者全員がティーチャーズクラブ会員の場合は、申請書は必要ありません。)

下見の予定	月 日 () 時 分頃	<input type="checkbox"/> 後日連絡あり	<input type="checkbox"/> 下見なし
*下見の来館は16:00までをお願いします。*土日でも可能ですが、対応できない場合もございます。			

*県外の学校は県名から 市町村名			
*「市町村立」等をつけない 学校名			
*市外局番から 電話番号		FAX 番号	
担当の先生	先生	学校長名	校長先生
実施月日	*休館日：火曜日(祝日の場合は開館、翌日休)、祝日の翌日(土曜日が祝日の場合の日曜日は開館)、その他臨時休館日がございます。 平成 年 月 日 () → 延期の場合 月 日 ()		
観覧時間	*昼食時間等は含めず、実質的な見学可能時間を記入して下さい。 午前・午後 時 分 ~ 午前・午後 時 分		
雨天時	雨天決行 ・ 雨天中止 ・ 雨天延期 ・ 雨天のみ利用		
学年	年、	年、	年 学級数計 クラス
児童・生徒数	名、	名、	名 計 名
引率者の人数	名 *カメラマンや保護者等も引率者に含まれます。		
時数の扱い	*当てはまるものに○をつけてください。 学校行事 ・ 総合 ・ 教科 ()		
交通機関	バス () 台 ・ 徒歩 ・ 路線バス ・ タクシー ・ 自転車		
昼食について	*晴天時の昼食場所は、屋外芝生広場です。 当館での昼食の予定 ある・ない 昼食の時間 時 分 ~ 時 分		
雨天時の昼食場所	生涯学習室(1/2)・体験学習室・ウッドデッキ・レストランラス・教育センター		

<input type="checkbox"/> 下見打合せ <input type="checkbox"/> 電話打合せ 月 日 () 対応者 () 見学内容確認 済 <input type="checkbox"/>	オリエンテーション(5分)
	ガイド(30分)
	ワークシート(30分)※当館ホームページをご参照ください。(初ジ・初展・中ジ・中展・パンフ)
	映画(戦争15分・水害12分・地方病12分)
	自由見学(体験工房)(分)
	企画展(展)(30分)
	その他「紙芝居20分・紙工作30分・お庭ガイド30分
終わりのあいさつ(5分)	

		受付番号	第	号
<p>観 覧 料 等 免 除 申 請 書</p> <p>年 月 日</p> <p>山梨県立博物館館長 殿</p> <p>申請者 住 所</p> <p>氏 名 印</p> <p>連絡先</p> <p>観覧料 次のとおり 利用料 の免除を受けたいので、山梨県立博物館設置及び管理条例施行規則 使用料 第10条第2項の規定により申請します。</p>				
申請の理由	山梨県立博物館設置及び管理条例施行規則第10条第1項第 号該当			
利用内容				
免除を受けようとする額				
摘要				

- 注 1 申請の理由の欄には、免除の根拠となる規則の該当号と、当該規定に該当する具体的な理由を記載してください。
- 2 利用内容の欄には、観覧、利用又は使用の別及び利用又は使用の日時その他観覧料等の免除の対象となる対象が特定できる内容を記載してください。

受付番号

第

号

観覧料等免除申請書

平成27年 5月 1日

山梨県立博物館館長 殿

〒406-0801

申請者 住所 笛吹市御坂町成田1501-1

氏名 県博小学校

校長 県博太郎



連絡先 055-261-2631 (fax 2632)

(担当 山梨花子)

観覧料

次のとおり 利用料 の免除を受けたいので、山梨県立博物館設置及び管理条例施行規則
使用料

第10条第2項の規定により申請します。

申請の理由	山梨県立博物館設置及び管理条例施行規則第10条第1項第 号該当 教育課程に基づく教育活動としての観覧。(春の遠足など)
利用内容	<p>観覧日時 平成27年5月22日(金)</p> <p>午前11時～午後2時</p> <p>引率教員数 4人 (大型バス2台)</p>
免除を受けようとする額	全 額
摘 要	晴天の場合は屋外で、雨天の場合は室内で 昼食を取らせて頂きたい。

注 1 申請の理由の欄には、免除の根拠となる規則の該当号と、当該規定に該当する具体的な理由を記載してください。

2 利用内容の欄には、観覧、利用又は使用の別及び利用又は使用の日時その他観覧料等の免除の対象となる対象が特定できる内容を記載してください。

かいじあむワークシート① 初級 ジオラマ編

小 年 名 前

ジオラマ(人形)は、江戸時代(約200年前)の甲斐の国(山梨県)の人々の生活の様子を表したものです。

このワークシートの①～⑮のジオラマをさがし、見つけられたら、()に○をつけ、よく説明を読みましよう。(そこが一番、大事です!)

見つけられた問題は、**全15問中** _____ 問 でした!



① 薪 ()
電気やガスや石油のない時代は、山に木を採りに行き、燃料にしています。



② 肥桶をかつぐ人 ()
昔は、「うんち」や「おしっこ」を肥料にしており、肥桶で運んでいました。



③ 洗濯をする人 ()
洗濯機も洗剤もない時代は、川で洗濯をしていました。



④ 井戸 ()
昔は水道がなかったので、井戸を掘って、地下水をくみ上げていました。



⑤ お風呂 ()
家の外にあり、木の湯船に木桶で水をくみ、薪を燃やして、お湯をわかしました。



⑥ 田植えをしている人 ()
5月ごろ早乙女と呼ばれる女性が唄を唄いながら共同作業で行いました。



⑦ 水車小屋 ()
水の力を利用して、杵を動かし、米や麦やそばの実などを粉にしました。



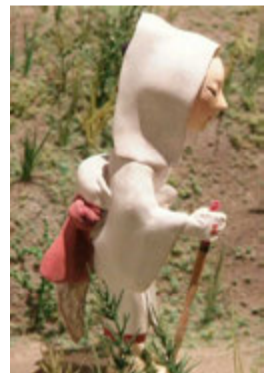
⑧ 天秤棒をかついでいる人 ()
物を運ぶ道具です。両側でバランスを取りました。



⑨ 背負子をしょっている人 ()
背負子とは、リュックサックのように背中で荷物を背負う道具です。



⑩ 肥だめ ()
肥料用の「うんち」や「おしっこ」を池のような場所にためておきました。



⑪ 狐 ()
村境のような薄気味悪いところは、狐に化かされると言われていました。(「しっぽ」が出ているよ!)



⑫ 蓑と笠をつけている人 ()
雨が降らない時代は、蓑と笠で雨をしのぎました。



⑬ 綿の木 ()
綿の実の中で、種を守る役割をしているのが綿です。紡いで糸を作りました。



⑭ 紙を作っている人 ()
和紙は「楮」という木の皮を原料にして作られていました。



⑮ 火の見ぼし ()
火事が起こった時、登って鐘を鳴らし、人々に知らせました。最初に戻って、自己採点しよう!

※ おまけの問題 次のものをさがしましょう。①犬5匹 ②猫3匹 ③猿2匹 ④とんぼ1匹 ⑤蛇1匹 ⑥うなぎ3匹

かいじあむワークシート② 初級 展示編

小 年 名前

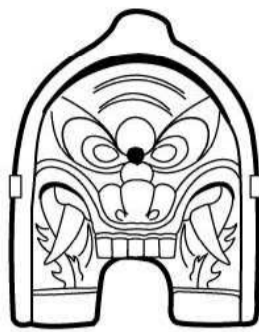
山梨県立博物館には、昔の物がいっぱいあります。それぞれの問題の右側に縦書きで書いてあるのが、コーナー番号と、コーナー名ですので、立て看板の赤い矢印に従って進みましょう。①～⑮の展示物をさがし、見つけられたら、()に○をつけ、よく説明を読みましょう。(そこが一番大事です！)

見つけられた問題は、**全15問中** 問 でした！



① 自然の森の中で

① 縄文土器 ()
木の実を煮炊きしたり、保存したりするために使いました。今から、4500年くらい前のものです。



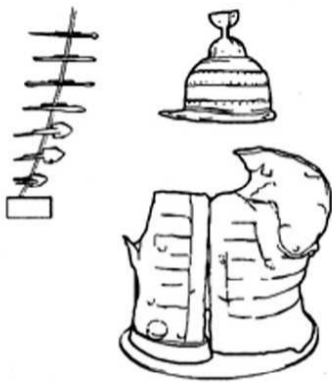
② 甲斐の誕生

② 鬼瓦 ()
1250前くらいのお寺の屋根につけられていました。魔よけのために、こわい顔をしています。



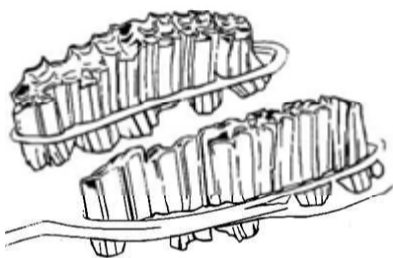
② 甲斐の誕生

③ 木簡(木の札) ()
紙が貴重品だった時代は、木に字を書いて荷札などに使いました。



③ 甲斐の黒駒

④ 鎧・兜 ()
1500年前ころの身分の高い人のお墓から出てきた、鉄の鎧や兜です。



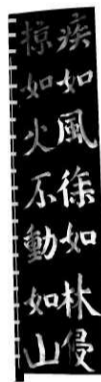
③ 甲斐の黒駒

⑤ 馬の歯 ()
1600年前ころ、馬は中国から伝わりました。大きさは今のポニーくらいでした。



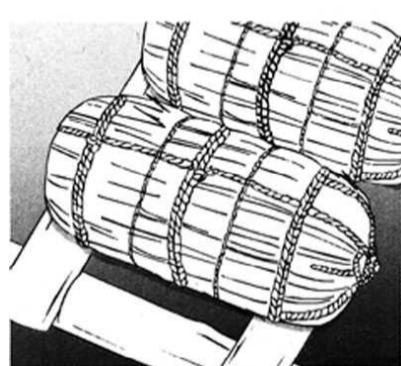
④ 水に取り組む

⑥ お祭りで使う人形 ()
洪水が来ないようにお祈りするお祭りで使われます。お祭りの中で、人形をあやつって踊りを演じます。



⑥ 甲斐を駆ける武士たち

⑦ 孫子の旗 ()
風林火山の旗とも呼ばれます。武田信玄の旗印でした。
裏面に続く →



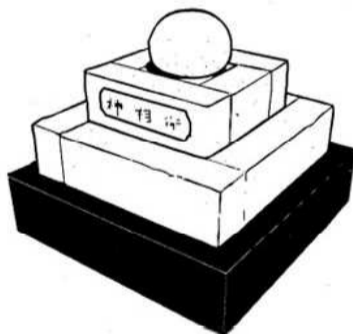
⑦ 川を彩る高瀬舟

⑧ 米俵 ()
米俵1俵は約60kgです。大人の人が食べる、5ヶ月分のお米が入っていました。



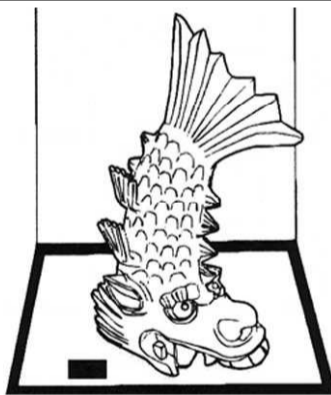
⑮ 里に暮らす

⑨ 馬のわらじ ()
稲わらを編んで作った馬の靴です。



⑮ 里に暮らす

⑩ 道祖神 ()
村境や道を災いから守る神様です。主に小正月の際に、お祭りが行われます。



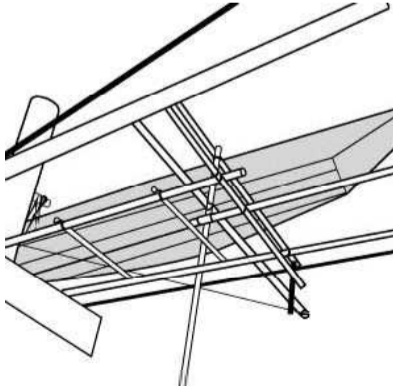
⑯ 城下町の賑わい

⑪ 金の鯨瓦 ()
甲府城の城跡から発掘されました。鯨は海の生き物で、火事を防ぐおまじないの役目をしていました。



⑯ 明治40年の大水害

⑫ 蓄音機 ()
今のCDプレーヤーのような音楽をかける機械です。「レコード」というものをのせて音楽を聞きました。



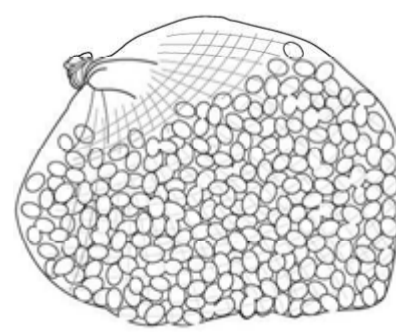
⑯ 明治40年の大水害

⑬ 舟 ()
水害に備えて屋根の下に舟をつけた家もありました。実際の洪水の時には避難のために使いました。



体験工房 保存の現場

⑭ お蔵 ()
家の宝物などを火事や泥棒などから守るための、厚い土壁の建物です。



体験工房 重さの現場

⑮ 繭 ()
「蚕」という蛾の幼虫が糸を吐いて作ります。絹の原料です。最初に戻って、自己採点しよう！

名前

ジオラマ（人形）は、江戸時代（約200年前）の甲斐の国（山梨県）の人々の生活の様子を表したものです。ワークシートの説明をよく読んで、次の表にあるジオラマをさがしてみましよう。

場所	問題番号	次のものをさがしてみましよう。	見つけられたら ⇨	○	
ム	1	かやぶき屋根の家 「茅」という草で屋根を作っていました。			
	2	薪 電気やガスや石油のない時代は、山に木を採りに行き燃料にしていました。			
	3	肥桶 昔は、「うんち」や「おしっこ」を肥料にしており、木の桶で運んでいました。			
	4	屋敷墓 お寺ではなく、個人の家の敷地にある、その家の先祖がまつられた墓です。			
	5	洗濯をする人 洗濯機も洗剤もない時代は、川で洗濯をしていました。			
	6	井戸 昔は水道がなかったので、井戸を掘って、地下水をくみ上げていました。			
	ラ	7	お風呂 家の外にあり、木の湯船に木桶で水をくみ、薪でお湯をわかしました。		
		8	屋敷神 家の守り神として、石や木で造られた小さなお社にまつられた神様です。		
		9	炭俵 暖房や煮炊きの燃料となる炭を、「わら」でくるんで保管しておきました。		
		10	筵 稲わらなどを編んで作った敷物で、いろいろな目的に使いました。		
ノ	11	煙草を吸っている人 昔は「煙管」という道具を使ってたばこを吸いました。			
	12	馬 田をたがやしたり、荷物を運んだり、人が乗ったりするのに、馬を使いました。			
	13	田植え 5月ごろ早乙女と呼ばれる女性が唄を唄いながら共同作業で行いました。			
	14	水車小屋 水の力を利用して、杵を動かし、米や麦やそばの実などを粉にしました。			
	15	天秤棒 物を運ぶ道具です。両側でバランスを取りました。			
	16	背負子をしょっている人 リュックサックのように背中で荷物を背負う道具です。			
	ラ	17	肥だめ 肥料用の「うんち」や「おしっこ」を池のような場所にためておきました。		
		18	狐 村境のような薄気味悪いところでは、狐に化かされると言われていました。		
		19	蓑と笠をつけている人 雨ガッパのない時代は、蓑と笠で雨をしのぎました。		
		20	綿の木 綿の実の中で種を守る役割をしているのが綿です。紡いで糸を作りました。		
ふね	21	高瀬舟 富士川でお米や塩を運ぶのに使われた、底の浅い、細長い舟です。			
ヤマ	22	紙を作っている人 和紙は「楮」という木の皮を原料にして作られていました。			
	23	筏に乗っている人 山で伐った木は筏に組んで運ばれました。			
	24	金を掘っている人 金は山奥の金山に穴を掘って、掘り出しました。			
	城下町	25	道祖神祭りの様子 甲府城下町では、小正月の道祖神祭りが盛大に行われました。		
26		初売りの様子 甲府城下町の正月月初売りは、夜中2時からにぎわっていました。			
27		提灯 明かりの道具で、和紙と竹と木できており、中にろうそくを立てました。			
28		門松 正月に家の入口に立てる飾りですが、竹を添える場合が多くあります。			
29		火の見ばしご 火事が起こった時、登って鐘を鳴らし、人々に知らせました。			
30		高札場 との様のおふれが書かれた木の札です。今で言えば伝言板です。			
問題は全部で30問です。いくつ、自分で見つけられたかな？ →					

※ おまけの問題

次のものをさがしましよう。①犬5匹 ②猫3匹 ③猿2匹 ④とんぼ1匹 ⑤蛇1匹 ⑥うなぎ3匹

なまえ 名前

やまなしけんりつはくぶつかん 山梨県立博物館には、昔の物がいっぱいあります。立て看板の赤い矢印に従って進み、コーナー番号をヒントに、ワークシートの説明をよく読んで、次の表にある物をさがしてみましょ。 ↓

見つけられたら ↓

コーナー番号	次のものをさがしてみましょ。(赤い矢印に沿って行くと見つかります)	○
1	縄文土器 木の実を煮炊きたり、保存したりするために使いました。	
2	1250年前ころのお寺の鬼瓦 甲斐国分寺というお寺の屋根についていました。	
2	甲斐の国のはんこ 今から1300年前ころ、正式な文書に押されました。	
2	木簡(木の札) 紙が貴重品だった時代は、木に字を書いて荷札に使いました。	
3	1500年前ころの鎧・兜 偉い人の墓から鉄の鎧や兜などが出土しました。	
3	1600年前ころの馬の歯 馬は中国から伝わり、ポニーのような大きさでした。	
4	700年前ころの堤防 檜の木を編み合わせ、土手が削られるのを防ぎました。	
4	お祭りで使う人形 洪水が来ないようにお祈りするお祭りです。	
6	武田信玄の肖像画 晴信と名乗っていた、若き日の信玄本人の肖像画です。	
6	楯無鎧 武田家の家宝の鎧で、菅田天神社の本物は国宝に指定されています。	
6	孫子の旗 風林火山の旗とも呼ばれます。信玄本陣の旗印として用いられました。	
6	川中島の合戦の屏風絵図 有名な信玄、謙信の一騎打ちをさがしてみましょ。	
7	米俵 米俵1俵は約60kgです。大人5ヶ月分のお米が入っていました。	
8	中国の昔のお金 400年前程までは日本でも中国のお金が使われていました。	
9	幕絵 甲府の城下町の道祖神祭りの時、祭りを華やかにするために使われました。	
11	甲府駅のフラットホーム 木造でした。「かふふ」とは何でしょう?	
11	機関車の写真 中央線が開通したころは、煙をはく蒸気機関車でした。	
12	甲州金 信玄の時代に金山の開発が進み、甲州金という金貨が造られました。	
12	大きな鋸 チェーンソーがない時代、大きな鋸で大木を切り出しました。	
15	馬のわらじ 稲わらを編んで作ったぞうりのようなもので、雪道ではかせました。	
15	道祖神 村境や道を災いから守る神様です。小正月にはお祭りが行われます。	
16	甲府城下絵図 全国的にも大規模な城で、別名「舞鶴城」とも呼ばれていました。	
16	甲府城の金の鯨瓦 甲府城の城跡から発掘されました。	
17	絹糸 「蚕」という蛾の幼虫が蛹になる時に作る繭から糸を取り出し作ります。	
19	蓄音機 今のCDプレーヤーのような音楽をかける機械です。	
19	洪水の時、避難に使った舟 水害に備えて屋根の下に舟をつるした家もありました。	
20	戦争時代の爆弾 66年前、日本とアメリカが戦争をした時、アメリカ軍の飛行機が日本全国(山梨にも)に「焼夷弾」という火事を起こさせる爆弾を落としました。	
20	戦争時代の学校の机・椅子 今の机・椅子と比べてみましょ。	
保存	お蔵 家の宝物などを火事や泥棒、光や熱から守るための、厚い土壁の建物です。	
重さ	繭 「蚕」という蛾の幼虫が糸をはいて作る白い殻のような物で絹の原料です。	
問題は全部で30問です。いくつ、自分で見つけられたかな? →		

博物館に行ってみる（庭の活用）

- 県立博物館は、広い庭を有しています。学校利用では見学前後にお弁当を食べたりして楽しく過ごしています。また、庭の木々や植物を活用した学習活動を行う学校もあります。

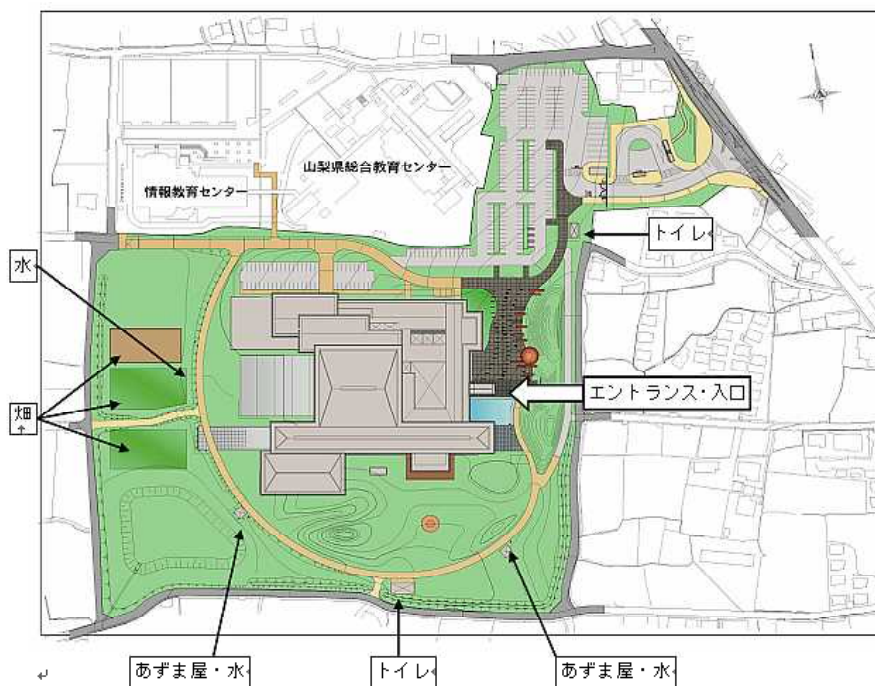
- ・ 屋外にもトイレ、水飲み場等が設置してあります。また、あずま屋もありますので、ご利用ください。
- ・ 芝生の上なども自由にお使いください。ただしボールや遊具等の持ち込みはご遠慮ください。



【博物館の庭について】

約160種類、4万本の植栽が庭を彩っています。江戸時代以前より山梨県にあった植物を中心に植えてあります。昔から植物は自然環境や人間の生活に密接に結びついていました。季節ごとに変化する木々、植物にも目を向けてみてください。また庭の一角には畑があり、山梨ゆかりの作物を育てています。

季節ごとの植物の観察活動、また展示との関わりなど、博物館での活動のひとつとしてご活用ください。





2017年度 かいじあむカレンダー

1 →開館日(9:00~17:00 最終入場は16:30)

2 →閉館日

3 →臨時開館日(" ")

4 →臨時閉館日

年間開館日300日(休館日65日)

4月 卯月 April

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

3/18~5/15 「ブータン-しあわせに生きるためのヒント-」

5月 皐月 May

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

5/27~6/26 「メトロ90年-地下鉄の父-早川徳次と東京地下鉄道-」

6月 水無月 June

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月 文月 July

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

7/15~8/28 「人類と宇宙」

8月 葉月 August

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月 長月 September

日	月	火	水	木	金	土
						1
						2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月 神無月 October

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

10/7~12/4 「甲府徳川家」

11月 霜月 November

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月 師走 December

日	月	火	水	木	金	土
						1
						2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2018 1月 睦月 January

日	月	火	水	木	金	土
						1
						2
						3
						4
						5
						6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1/2~2/26 「よみがえる! 甲府道祖神祭り」

2月 如月 February

日	月	火	水	木	金	土
						1
						2
						3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3月 弥生 March

日	月	火	水	木	金	土
						1
						2
						3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

3/17~5/14 「芳年-激動の時代を生きた絵師-」

貸出教材（ミュージアム・キット）を活用してみる

1. 電話で予約状況を確認し、仮予約をしてください。

すでに予約が入っている場合等、お断りすることがあります。仮予約は、貸し出し予定日の3か月前からおこなえます。

2. 借用申請書(様式1)→(15ページまたは当館ホームページより)を送付してください。

必要事項をご記入の上、郵便、ファックスで送付してください。

〒406-0801 笛吹市御坂町成田1501-1 山梨県立博物館 企画交流課
ファックス 055-261-2632

※引き取りのための来館時間を電話などでお知らせください。

★3. ミュージアム・キットをご活用ください。★

4. 終了後、ご返却ください。

期日までにご返却ください。その際、同梱の資料活用報告書(様式3)→(16ページ)にご記入の上、一緒にご返却ください。

授業案、授業で使ったワークシート等がありましたら、ご提供ください。

■その他

○費用は一切かかりません。

(但し、宅配便等を利用する場合は、送料のご負担をお願いします。)

○試着できるキットは身長150cmサイズでつくられていますが、和服ですののでかなり融通がききます。ただし、鎧兜（よろいかぶと）についてはもう少し小さいサイズです。

○キット全部もしくは一部をなくしてしまったり、壊してしまった場合、ただちにご連絡ください。

【甲斐国関係の古代木簡レプリカセット】

文字、寸法、風合い、キズまでもが、本物そっくりに複製された資料です。博物館展示用複製資料と同じ規格で作ってあります。展示室では見られない裏面に描かれた文字や絵まで手にとって見るすることができます。（解説資料付）



【石臼（いしうす）】

もちろん実際に使用できます。教材用として使用していますので、食用にはご遠慮頂いております。

（※昔の道具体験の出前授業も行います。）

【昔の暮らし電子写真集DVD】

内田宏氏の撮影による昭和30年代から40年代の農村の生活に関する写真です。当時の養蚕、農作業、暮らしぶりに関する写真が納められています。



昭和30年

昭和30年



昭和30年

昭和30年

【博物館関連書籍】

博物館図録や研究紀要，過去に開催した特別展などの図録等を貸し出しします。

貸し出し可能な書籍

常設展示案内

風林火山

やまなしはじめて物語

祈りのかたち—甲斐の信仰—

北斎と広重ふたりの富嶽三十六景

甲州食べもの紀行

信玄堤（リーフレット）等 他多数貸出可能。





【戦国時代キット】

戦国時代の鎧兜，太刀，火縄銃によるキット。鎧兜は試着することができます。



【江戸時代キット】

江戸時代の武士の服装(袴)，太刀(大小)，町人の服装(男女各1)，寺子屋本によるキット。武士の服装，町人の服装は試着することができます。



【旅姿キット】

菅笠(男女各1),旅の服装,柳行李によるキットです。旅の服装は試着することができます。



【オリジナル歴史紙芝居】（※平成23年度より追加されました。）

①「武田信玄 ～風の如く、火の如く～」



第1話 誕生～青年期 父と子

第2話

家督相続 若き甲斐国主の日々

第3話 川中島篇 VS謙信

②「小さな親善大使 青い目の人形」



※青い目の人形の

紙芝居DVDもあります。

③「江戸時代 奮起一発！ 大工の仕事」

④「高度成長期 洗濯機物語

～タビーの大冒険～

※交流員による紙芝居の出前もあります。

平成 年 月 日

山梨県立博物館館長 殿

資料借用申請書

申請者 学校(機関)名 _____

学校(機関)長氏名 _____ (公印省略可)

貴館のかいじあむミュージアムキットについて、貸出要項を遵守のうえ、下記の通り借用致したく申請します。

記

1. 借用を申請するキット (希望するキットの□に印をしてください。1回1キット)

古代木簡 石臼

戦国キット 全部 一部 → 鎧兜 戦国時代の太刀 火縄銃

江戸時代キット全部 一部 → 武士の服装 寺子屋本
 町人の服装・男 町人の服装・女

※ 甲州升のキットを加えてほしい

旅姿キット 全部 一部 → 菅笠 旅の服装 柳行李

博物館作成書籍 (書籍名 _____)
(キットとの重複可)

オリジナル歴史かみしばい (タイトル _____)

かいじあむ歴史かみしばい (キットとの重複可)

2. 借用期間 平成 年 月 日 から 平成 年 月 日

3. 運搬方法

着払の宅配便

博物館まで取りに行く (月 日 時ころ)

その他の方法 ()

4. 返却方法 (月 日 時ころ 返却手段 _____)

5. 活用目的 (学年, 人数, 活用する教科・領域, 単元名, どのように活用するか等)

6. 管理責任者 氏名 _____

7. 連絡先

○住所 〒 _____

○電話番号 _____ ○ファックス番号(必須) _____

資料活用報告書

学校(機関)名 _____

記入者氏名 _____

1. 借用したキット (□に印をしてください)

古代木簡 石臼

戦国キット 全部 一部→ 鎧兜 戦国時代の太刀 火縄銃

江戸時代キット全部 一部→ 武士の服装 寺子屋本
町人の服装・男 町人の服装・女

※甲州升のキットを加えた。

旅姿キット 全部 一部→ 菅笠 旅の服装 柳行李

オリジナル歴史かみしばい (タイトル _____)

古代木簡 1セット

石臼

かいじあむ歴史かみしばい

博物館作成書籍 (書籍名 _____)

2. 活用状況

○活用した単位 学校全体・学年(年)・クラス(年 組)・その他(_____)

○活用した科目等 総合・教科(_____)・その他(_____)

○単元または主題名(_____)

○活用状況 (できるだけ詳しく。別紙による報告も可)

※授業案, ワークシート, 授業の様子を報じた学級通信, 子どもたちの感想等がありましたら添付していただくとありがたいです。後日お送りいただいても結構です。

3. 活用しての感想・希望等

※紙面が足りなかったら他の紙にお書きください。

出前授業（講師派遣）の手続きについて

1 まずは電話で仮予約をお願いします。

- 希望する内容，日時，対象学年などをお知らせください。講師の派遣が可能かどうか博物館で調整をいたします。できるだけ希望日の1ヶ月前までに、ご連絡いただけるとありがたいです。

2 「出前授業講師派遣申請書」をご提出ください。

- 申請書を、当館ホームページ上でダウンロードし、必要事項を記入の上、職印を押印し、郵送してください。（提出期限は、実施日の1週間前までです。）

3 事前に確認しておきたいことなどがあれば、電話でどうぞ。

★4 出前授業当日★

- 内容によりパワーポイントなどのプレゼンテーションソフトを使って授業をすることがあります。その場合お手数ですがパソコンや大型テレビまたは、プロジェクターやスクリーンなどのご準備をお願いいたします。
- 「出前授業を活用してのアンケート」を渡しますので、感想や改善点をご記入の上、FAX送信をお願いします。

■その他

- 費用は一切かかりません。
- 担当職員のスケジュールもありますので、あらかじめ授業実施日の候補をなるべく複数あげていただけるとありがたいです。また、実施予定日の1ヶ月前までに連絡をいただくと、スケジュールの調整がつけやすいです。（どうしても調整がつかない場合お断りする場合もございます。）
- すべての校種・学年で活用いただけます。
- 博物館見学の事前や事後に出前授業を位置づけると効果的です。日程等を調整いたしますので、ご連絡ください。

県立博物館では、博物館職員が学校におじゃまして 「出前授業」を行っています！

下記一覧表は出前授業のレポーターです。対象学年は、あくまで「目安」なので、要請があれば、小・中・高・支、どの校種、どの学年にも対応いたします。また、下記以外のテーマについても、できるだけ要望に応じますので、お気軽にお問い合わせください。なお、授業参観、PTA親子活動、校内研究会、教協研修会などで、ご利用いただくことも可能です。

テーマ名	小3	小4	小5	小6	中学	高校	教科等	その他
昔の道具を体験しよう	◎						社会	昔の道具体験
信玄堤		◎			○	○	社会・総合	開発单元・峡中地方
富士川舟運		○			○	○	社会・総合	開発单元・峡南地方
明治40年大水害		○			○	○	社会・総合	峡東地方
富士山世界遺産関係			○		○	○	総合	南都留・遠足事前学習にも
修学旅行事前学習			◎	◎			総合・社会	鎌倉
山梨県の歴史				○	○	○	社会	日本の歴史とのつながりに焦点
古文書を読んでみよう				○	○	○	社会・総合	発達段階に応じて全学年に対応
武田信玄				○	○	○	社会・総合	特に信玄ゆかりの地で！
甲府城				○	○	○	社会・総合	甲府城周辺校
甲府空襲・大月空襲				◎	○	○	社会	平和学習
浮世絵(北斎と広重)				○	○	○	図工・美術・社会	
県内巡りの見所					○		総合・特活	県内の神社仏閣の歴史等
職業講話					○	○	総合・特活	学芸員の仕事について

◎は、何回か実践済みで、好評をいただいている、お勧めの出前授業プランです。

歴史紙芝居 出前上演 テーマ一覧

下記一覧は、小学生対象の歴史紙芝居のレポーターです。出前授業同様、要請があれば、お伺いして上演します。業前の読書タイムや、図書の日など

テーマ名 (各15分程度)	対象・教科・関連等
「十二支の話」	低学年向き・12月、1月が効果的
「高度成長期 洗濯機物語」	3年生、社会科「昔の道具とくらし」に関連
「江戸時代 奮起一発！大工の仕事」	3年生、社会科「昔の道具とくらし」・キャリア教育に関連
「小さな親善大使 青い目の人形」	6年生、社会科の歴史・平和教育に関連
「武田信玄」(3部作・1部ごとの上演可)	6年生、社会科の歴史・郷土学習に関連

出前授業講師派遣申請書

平成 年 月 日

山梨県立博物館館長 殿

申請者 住 所 〒

学校名

校長名 印

連絡先 TEL

fax

次のとおり、出前授業講師の派遣を申請します。

担当者名	先 生
学 年	年 () 名
内 容	教科名 単元名
出前授業名	
日 時	平成 年 月 日 () : ~ :
場 所	
特記事項	

出前授業 その1 「昔の道具とくらし」 対象学年：小学3年 実施時期：2月旬

目標：「養蚕の説明」や「昔の道具の説明」を聞いた後での「昔の道具体験」を通して、「昔のくらしの様子と智慧・今との違いや変化」に関心をもつ。

児童の感想

- 昔の人は、糸を作るところから服の完成まで全部やっていて、ずいぶん手先が器用ですごいなあと思いました。私だったらいやになってしまうと思いました。
- わらぞうりを実際にはいてみて感じたのは、少しちくちくして痛かったことと、とても温かかったことです。とても楽しかったです。
- 石臼はとても重かったけど、お米を穴に入れて回すと、お米が粉になって出てきて、触ってみるととても気持ち良かったです。

出前授業 その2 「信玄堤について知ろう」 対象学年：小学4年 実施時期：11月

目標：「信玄堤の概要の説明」を聞いた後、「地形模型での洪水実験」を観察することで、信玄堤の構造や様々な工夫や、先人の働きについて理解する。

児童の感想

- 昔の人が一生懸命、頑張って自分の住んでいるところが洪水にならないように堤防を造り、(そのおかげで)今では洪水なんかにならず、安心して暮らせるようになった。昔の人に「ありがとう！」と言いたい。
- 昔の人たちの智慧をしぼって、工夫をして洪水を防いだことはすごいと思った。信玄堤は全国のお手本になっていることが、特にすごいと思った。
- (地形模型の実験では)中央市の三村小にも洪水が来ていたので、今は、昔の河原に住んでいることが、よく分かった。

出前授業 その3 「修学旅行事前学習～鎌倉について知ろう」

対象学年、並びに実施時期 小学5年－3月～小学6年－4月

目標：修学旅行における、鎌倉での班別行動見学を、より有意義なものにするための事前学習として、鎌倉幕府成立の歴史的経緯や、鎌倉寺社の由来等について理解を深め、興味・関心を高める。

児童の感想

- 鎌倉の歴史や、平家と源氏の関係の説明がとても分かりやすく、とても楽しかったです。
- この授業で、鎌倉のことがより分かって、修学旅行がさらに楽しみになりました。
- 歴史にはあまり興味がなかったが、先生の指導により、たくさんの歴史のことを知りました。わたしは前まで歴史をあまり楽しくないものと思っていましたが、今日、歴史のことを学び、「歴史は楽しいものなんだ!!」と思えました。

目標：歴史分野の学習の総まとめとして、「教科書に出てくる日本全体の歴史と、山梨県の歴史のつながり」について理解するとともに興味、関心を高める。

児童の感想

- 今日の授業では戦争の恐ろしさを改めて知った。一番心に残ったのは、甲府空襲でたくさんの方の尊い命が奪われたことである。
- 最後に見た映画は、本当に自分が戦争をしているようだった。戦争のありさまが見えてきて怖かった。
- 教科書に載っていないことを含めて、初めて知ったことがたくさんあった。今日のお話を聞いて、改めて「戦争はしてはいけない」ということが分かった。もっと戦争について考えてみたい。



職場体験学習・インターンシップ

山梨の歴史を後世に伝える博物館の仕事に接する中で、山梨についてより深く知っていただくとともに、「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせる」というキャリア教育の観点からも、博物館では中高生の職場体験学習・インターンシップを受け入れています。

○受け入れ期間

随時受け入れますが、博物館開館日、開館時間に限ります。（火曜休館なのでご注意ください。）また、博物館の行事が重なっていたり、混雑が予想される時期にはお断りする場合があります。

○実習日数

基本的に2日間です。（1日、3日間も検討します。ご相談ください。）

○人数

2～5名程度のグループ（人数についてもご相談ください）

○体験内容

- ・山梨県立博物館の歩み・役割についての説明
- ・博物館で働いている人たち（学芸員など）の仕事についての説明
- ・館内見学（展示室・研究室・資料収蔵庫など）
- ・業務体験（改札業務・利用者案内・ミュージアムショップ・資料整理・アンケート集計・畑仕事・事務補助など）

※他にもご希望があれば、ご相談ください。

○その他

- ・保護者を通して受け入れの可否を確認する場合でも、申し込みは学校が一括して行ってください。
- ・申し込みが重なる場合、他の学校のグループと一緒にの実習ということもありますが、ご了承ください。
- ・甲府駅、石和駅から当館を通る路線バスがあるので、生徒だけでも通えます。

かいじあむティーチャーズクラブとは…

山梨県立博物館では、学校の教育課程の中で博物館を有効に活用できるよう、活用事例の開発及び教職員の博物館での学習機会を確保するため、ティーチャーズクラブを運営しています。

【活動の内容】

博学連携の推進という立場に立ち、会員の先生方が博物館を見学し、学校の授業や博物館を利用した校外学習の際の有効な博物館活用方法を探ることで、県内の児童生徒の郷土学習が推進されることを目的としています。会員の先生方には、都合のつく時間にいつでも博物館に来て、博物館の活用についてイメージをふくらませてもらいます。また、年に2回の研究会や教育センターとの共催による研修会もご案内いたします。



研究会の様子

【たとえばどんな活用方法があるの？】

- 博物館を利用した有効な学習方法の情報を得る。
 - 博物館の活用の幅を拓げ、どのような利用方法があるか探る。
 - 博物館の貸し出し用の教材・教具（ミュージアム・キット）を活用してみる。
 - ビデオ教材やデジタル資料を活用してみる。
 - 出前授業を活用してみる。
 - その他、博物館を授業で生かすアイデアを企画・実践する。
- ※博物館のホームページからワークシートをダウンロードできます。

【会員になると】

- 県内の学校(小中高特)、教育機関にお勤めの教職員の方ならどなたでも会員になれます。
- 会員証を発行し、それを提示いただくと県立博物館の常設展示、企画展示を1年間何度でも無料で視察いただけます。研究はもちろんですが、気軽に展示などをご覧ください。(もちろん年会費や入会費はありません)
- 博物館には授業で活用できるどんな資料があるのか、どんな活用方法があるのか、そんな情報を得ることができます。お気軽にご入会ください。
- 年2回開催予定の研究会については、ご都合のつく範囲でご参加ください。

【会員になるには】

応募用紙に必要事項をご記入の上、郵送やFAX等で県立博物館までお送りください。(406-0801 笛吹市御坂町成田 1501-1 FAX 055-261-2632)

※応募用紙は26ページまたは当館ホームページ
(<http://www.museum.pref.yamanashi.jp>) にあります。

博物館の活用方法を研究してみませんか？

かいじあむティーチャーズ・クラブ

会員募集!!

山梨県立博物館では、学校の教育課程の中で博物館を有効に活用できるよう、活用事例の情報交換及び教職員の博物館での学習機会を確保するため、本年度も「かいじあむティーチャーズクラブ」の会員を募集します。



【活動の目的及び内容】

博学連携の推進という立場に立ち、会員の先生方が博物館を利用し、授業や校外学習での有効な博物館活用方法を探り、県内の児童生徒の郷土学習を推進することを目的とします。会員の先生方は、都合のつく時間にいつでも博物館に来て、博物館活用について、イメージをふくらませてもらいます。また、年に2回の研究会や教育センターとの共催による研修会もご案内いたします。

【クラブの会員になると？】

- 県内の学校(小中高特)、教育機関にお勤めの教職員の方ならどなたでも会員になれます。
- 入会費・年会費はありません。定員も特に設けません。多くの先生方の入会をお待ちしております。
- 年2回の博物館主催の研究会や教育センターの研修会があります。(参加は任意です。)
- 常設展示・企画展示の視察について観覧料を免除させていただきます。観覧の際には、会員証と身分を証明できるもの(運転免許証または組合員証など)をご持参ください。
- 勤務先の異動及び退会の折には博物館まで御連絡ください。



【たとえばどんな活用方法があるの？】

- 博物館でさまざまな学習素材を学ぶ。
- 博物館のどのような活用方法があるかを探る。
- 博物館の貸し出し用の教材・教具(ミュージアム・キット)を活用してみる。
- ビデオ教材やデジタル資料を活用してみる。
- 出前授業を活用してみる。
- その他、博物館を授業で生かすアイデアを企画・実践する。
※博物館のホームページからワークシートをダウンロードできます。

【応募するには？】

- 応募用紙に必要事項をご記入の上、郵送・ファックス等で県立博物館までお送りください。
- 研究会の開催にあわせて学校長宛に出張依頼文書を送付いたします。

【問い合わせ・申し込み先は？】

山梨県立博物館 企画交流課
(ティーチャーズクラブ担当)
〒406-0801 笛吹市御坂町成田 1501-1
電話 055-262-1278
ファックス 055-261-2632

かいじあむティーチャーズ・クラブ 設置要綱

第1条（目的）山梨県立博物館では、学校の教育課程の中で博物館を有効に活用するため、教職員による研究・研修を行う『かいじあむティーチャーズクラブ』（以下、クラブと呼ぶ）を置く。

第2条（会員）県内の学校（小中高特）ならびに教育機関に所属する教職員は、クラブの会員になることができる。（別添申込書）

第3条（活動）クラブ会員は博物館を活用した学習・活動に関する情報を得て、教育実践に生かす取り組みをする。取り組みは個人でもグループでも行える。

第4条（会費）クラブの会費（入会費・年会費とも）は無料とする。

第5条（事務局）クラブの事務局は博物館におき、その事務を企画交流課が担当する。

第6条（研究・研修への支援）会員に研究や実践を効果的に進めてもらうために、以下のような支援を行う。

- 博物館の資料を授業で活用する際の助言・支援
- ミュージアムキットなどの優先使用
- 常設展示・企画展示観覧料の免除

附則

この要綱は平成18年 7月28日から施行する。

平成24年 6月7日一部改定

この用紙をコピーしてお使いください。郵送・ファックス等でお送りください。

山梨県立博物館 企画交流課 ティーチャーズ・クラブ 担当

〒406-0801 笛吹市御坂町成田 1501-1

電話番号 055-261-2631 ファックス 055-261-2632

ここには何も書かないでください

受付日	小	中	高特	

かじあむティーチャーズ・クラブ応募用紙

平成 年 月 日提出

ふりがな お名前	性別 (男・女)
所属(学校等)名	

県立博物館を活用して実践してみたいアイデアがありましたらお書きください。

--

ティーチャーズ・クラブに対してのご意見ご要望等ありましたら自由にお書きください。

--

この用紙をコピーしてお使いください。郵送・ファックス等でお送りください。

山梨県立博物館 企画交流課 ティーチャーズ・クラブ 担当

〒406-0801 笛吹市御坂町成田 1501-1

電話番号 055-261-2631 ファックス 055-261-2632

ここには何も書かないでください

受付日	小	中	高特	

かいじあむティーチャーズ・クラブ 所属変更届

平成 年 月 日提出

ふりがな お名前	
	性別 (男・女)

○ 今年度の人事異動により所属が次のように変わりましたので、
会員証の更新を願います。

旧所属名 (学校等)	
新所属名 (学校等)	

県立博物館を活用して実践してみたいアイデアがありましたらお書きください。

--

ティーチャーズ・クラブに対してのご意見ご要望等ありましたら自由にお書きください。

--

子ども学芸員事業のご案内

①子ども学芸員ってどういうもの？

学校で山梨県立博物館を見学したり、出前授業を受講したりした、学習の成果としてレポートをご提出いただくと、児童生徒を当館の子ども学芸員に認定します。子ども学芸員には認定証と常設展無料招待状（ご家族様分）を学校を通して渡します。

来館を重ねるごとにポイントが増し、子ども学芸員のグレードが初級→中級→上級とアップしていきます。

②目的は？

子ども達に山梨県の歴史・文化についてより深く知ってもらい、山梨県民として山梨の自然や人々に対する興味や関心の幅を広げてもらうことを目的としています。

③学習の成果（レポート）は次のようなものが考えられます。

- 見学の際に使ったワークシート（当館のものでも学校独自のものでもOK）
 - 事後学習としてまとめた博物館見学の学習感想等（国語や総合の学習とタイアップした場合を除き、「お礼の手紙」ではないものが望ましいです。）
 - 見学の絵日記
 - 当館の見学を題材にした絵画作品等
- ※全員が取り組んでいれば、代表レポート数点の提出をもって、全員を認定します。（その際の提出レポートはコピーにしてください。）

④参加対象は？ 山梨県内の小・中・高・支援学校の児童生徒

⑤将来的には・・・

上級認定者を対象に、「かいじあむ子ども博士検定」（仮称）の実施を考えています。

【レポート送付・お問い合わせ先】

山梨県立博物館 企画交流課 子ども学芸員担当

〒406-0801 笛吹市御坂町成田 1501-1

電話 055-262-1278

ファックス 055-261-2632

「大好きな山梨を描こう」絵画作品応募について

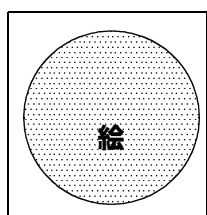
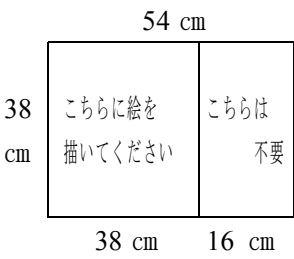
○山梨県立博物館では、「大好きな山梨を描こう」というテーマで作品を募集しています。わたしたちが住んでいるこの山梨の自慢や魅力、大好きな山梨の未来を想像した作品を子どもたちに描いてもらう絵画作品を募集し、展示の一部として活用していきます。応募された全作品を展示しますので、ふるってご応募ください。

【絵画作品募集の流れ】

- 6月中旬 県内小中学校に電子メールにて募集要項を送付。
各校の夏休み課題一覧に掲載をお願いします。
図工・美術・社会・総合等の授業で制作したものでも結構です。
- 夏休み期間中 各家庭にて、児童生徒の取り組み。
- 9月上旬 作品応募締め切り。(学校ごとの送付をお願いします。)
- 10月下旬 博物館に展示。(全応募作品を展示します。)
応募数により期間ごと何回かに分けて展示する場合があります。
展示日程などは、事前に学校を通して、応募者にお知らせします。

【応募に際しご注意くださいこと】

- 四つ切りの画用紙(38cm×54cm)を38cm角の正方形に切ったものに描いてください。
(展示の窓枠の円の直径は、35cmです。) →
- 画材は、水彩、クレヨン、クレパスです。
(色鉛筆は不可です。ご注意ください。)
- 作品の裏に、学校名、学年、氏名(ふりがなも)を記入してください。
- 作品は折らないでください。
- 応募作品を展示する際、「円い窓枠」(右の図参照)に入れて展示します。画用紙の隅に描いたものは枠に隠れて見えないことがありますので、ご注意ください。
- 詳細は6月中旬に送付する「募集要項」でご確認ください。



展示の様子

【その他】

- 応募いただいた全児童・生徒に、山梨県立博物館の常設展の家族招待券を進呈します。
- 現在、平成28年度の応募作品を各期間ごと順次展示しています。また、当館ホームページで応募作品の縮小版を公開していますので、あわせてご覧ください。



《 かいじあむイベントのご案内 》

山梨県立博物館（愛称：かいじあむ）では、体験をとおして、楽しく遊びながら歴史が学べるプログラムを、土曜日と日曜日を中心に開催しています。博物館の展示をみてまわるのも楽しいですが、博物館で定期的で開催している恒例のイベントをご紹介しますので、是非参加してみませんか。詳細は、博物館のホームページやチラシ等をご覧ください。

館長トーク	当館の平川 南館長（日本古代史）が「古代社会の実像を探る」をテーマに、最新の研究成果について語ります。 【基本的に奇数月の第3日曜日 13:30～15:00 生涯学習室】 ※異なる場合もあるので、ホームページ等で確認願います。
かいじあむ講座	当館の学芸員による、特別展に関連した内容等、歴史を楽しく学べる講座です。 【不定期開催】
学芸員による ギャラリー・トーク	シンボル展・特別展の見どころを、担当学芸員が詳しく解説します。 【展示開催期間中の土・日・祝日】 15:00～（1時間程度） ※異なる場合もあるので、ホームページ等で確認願います。
かいじあむ 古文書講座	シンボル展・特別展に関連した内容や、季節等に関連した内容について、初めて古文書を学ぶ方を対象とした講座です。 【9・12・3月を除く毎月第4土曜日 13:30～15:00 生涯学習室】
古文書相談日	お手持ちの古文書の読み方、整理方法、保存方法等について専門の学芸員が相談に応じます。古文書の全文解読や、資料鑑定等対応できない内容もあります。 【奇数月の第2日曜日 10:00～13:00 体験学習室】
お庭の見どころ ガイド	かいじあむのお庭には、約160種4万本の草木が植えられ、野鳥や昆虫も訪れます。お庭の四季折々を散歩がてらに楽しんでみませんか？協力会会員のご案内いたします。 【毎月第3土曜日 13:30～14:30 博物館外庭】
かいじあむ 子ども工房	展示の内容や、季節に合わせた、子ども向けに体験的、工作的なプログラムを用意し、ふだんではできないむかしの体験や工作を行います。 【毎月第2土曜日 10:30～15:00 ロビー他】
展示交流員による 常設展スルーガイド	当館の常設展示の中から、オススメのコーナーを、展示交流員が詳しくご説明・ご案内いたします。 【毎週土曜日 11:00～11:30 常設展示室】
あそぼう！ まなぼう！ 寺子屋ひろば	展示交流員が、毎週日曜日様々なメニューで、楽しく遊びながら歴史が学べるプログラムを紹介しています。 【毎週日曜日 11:00～11:30 常設展示室寺子屋ひろば】

この他にも、博物館の季節のお祭りとして「かいじあむのお正月」、「かいじあむ子どもまつり」、「かいじあむの夏まつり」、「かいじあむの秋まつり」と題し、大人から子どもまで楽しめる盛り沢山のイベントを開催し、皆様をお迎えしています。

※いずれのイベントも原則として、参加費無料で行っていますが、特別展／常設展の観覧券が必要な場合や、材料費等が必要な場合もあります。詳しくは、当館のホームページやチラシをご覧ください。

〒406-0801 山梨県笛吹市御成町成田1501-1
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで) 休館日 火曜日(祝日の場合はその翌日)

Tel:055-261-2631/Fax:055-261-2632

※()内は20歳以上の団体料金、山梨県内のホテルや旅館に当日か前日に宿泊する方を対象とした割引料金です。企画展と常設展の共通券もご用意しています。
*高校生以下の方、山梨県内在住の65歳以上の方、障がい者の方およびその介護をされる方は無料です。
*県外在住の65歳以上の方は学費優待料金のみの無料です。

観覧料
について


ズタン
The Utamarō Exhibition
しあわせに生きるためのヒント
2017.3/18 SAT-5/15 MON



知られざるズタンの歴史と文化を、日本初公開の貴重な資料により紹介します。

観覧料 一般 1000(840)円、大学生 500(420)円

人類と宇宙
星空をめぐる歴史物語
2017.7/15 土 ▶ 8/28 日



太古の昔から近年の宇宙開発技術まで、人が宇宙をどのようにとらえ、関わってきたのかを辿ります。

観覧料 一般 500(400)円、大学生 250(200)円

甲府徳川家
2017.10/7 土 ▶ 12/4 月



これまであまり知られてこなかった甲府藩徳川家の歴代と、彼らを支えた甲府藩の人々、そして彼らが生きた時代の具体像に迫ります。

観覧料 一般 1000(840)円、大学生 500(420)円

芳年
激動の時代を生きた
鬼才浮世絵師



江戸から明治へと変遷する時代に活躍し、無修翫から美人画まで幅広い画題を手がけた、月岡芳年の作品を一挙公開します。

2018.3/17 土 ▶ 5/14 月

観覧料 一般 500(400)円、大学生 250(200)円

スーダン

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

甲府徳川家

人類と宇宙

万年

地下鉄 90 年

観覧料 常設展観覧料でご覧いただけます。一般 5100(4200)円、大学生 2100(1700)円



地下鉄90年 地下鉄の父、早川徳次と
東京地下鉄道

2017.5/27 土 - 6/26 月
早川徳次が地下鉄創業へ挑んだ軌跡を紹介し、その近代交通史上の意義や、早川的情熱、追い求めた公益性について明らかにしていきます。

観覧料 常設展観覧料でご覧いただけます。一般 5100(4200)円、大学生 2100(1700)円

**よみがえる！
甲府道祖神祭り**
2018.1/2 火 ▶ 2/26 月



江戸時代、甲斐の国の祭りの中で最も盛大だとされていた甲府の道祖神祭り。幻の新発見資料も初公開。祭りの華やきが、博物館でよみがえります。

観覧料 常設展観覧料でご覧いただけます。一般 5100(4200)円、大学生 2100(1700)円

よみがえる！甲府道祖神祭り

石和西小学校「博学連携」活動について

石和西小学校

6年担任 長田 る美
河西 佑哉

○「ミュージアムキット」の活用について【戦国時代キット・オリジナル歴史紙芝居】

1 教科・単元名

社会科「全国統一への動き」

2 単元の展開

(全5時間)

時	ねらい	主な学習活動
1・2	戦国時代の戦いの様子に関心をもち、時代背景を理解して、全国統一がどのように進められていくのかについて学習問題を設定することができる。	○甲斐国の政治を安定させた武田信玄にかんする紙芝居を見る。【オリジナル歴史紙芝居】 ○長篠の戦いの絵図から気付いたことを話し合い、戦国の世の中になった経緯を調べる。
3	織田信長が行った政治を調べ、全国統一に向けて信長が果たした役割を考えることができるようにする。	○信長が全国統一を目指して行った業績を調べ、当時の人々の思いや信長の果たした役割を考える。 ○実際の火縄銃をもち、重量を体感することで、これを実践に役立てようとする信長の新しいものを導入しようとする考え方を捉える。【戦国時代キット】
4	豊臣秀吉が行った政治を調べ、全国統一に向けて秀吉が果たした役割を考えることができるようにする。	○秀吉が全国統一を目指して行った業績を調べ、当時の人々の思いや秀吉の果たした役割を考える。
5	徳川家康が行った政治を調べ、3人の政治の進め方を比較しながら、それぞれの特徴を理解することができるようにする。	○家康が江戸幕府を開くまでの経緯を調べ、信長・秀吉・家康の政治をまとめる。

3 成果

児童にとって、武田信玄は身近な歴史的人物である。そこで、単元の導入で武田信玄が甲斐国を治める経緯を【オリジナル歴史紙芝居】で学習することで、その後の長篠の戦いへの興味関心を高めることができた。また、その後信長・秀吉・家康の業績に迫っていくが、長篠の戦いで武田軍を破った武将達という児童の中の位置付けができたため、「3人が今後どのように全国統一をするのか」という学習問題への動機付けにも【オリジナル歴史紙

芝居】は有効であった。

さらに、信長の業績を学習する時には、【戦国時代キット】を活用した。火縄銃の実際の重さを体感し、また弾の装填も時間がかかることを話すと、火縄銃が実践に向かないことを児童は口々につぶやいていた。しかし、従来では考えられない方法で効率的に活用する等、信長の新しいことを取り入れようとする考えに触れるきっかけとなった。その後の信長の業績にも関心をもって学習に取り組むことができた。

○児童の感想

- ・火縄銃や刀を持ってみてすごく重かったです。昔の人は、これによろいを着けていたのですごく重かったと思います。
- ・こんなに重い銃を実践で使おうとした信長はすごいと思いました。

○「出前授業」の活用について

1 教科・単元名

総合的な学習の時間「修学旅行を楽しもう」

2 単元の展開

時	ねらい	主な学習活動
1~6	修学旅行について知識を得るとともに、鎌倉幕府成立の歴史や、鎌倉寺社の由来について理解を深め、活動への意欲を高めることができる。	○修学旅行の目的地について調べ学習を行う。 【出前授業~鎌倉の歴史や地理について~】 ○鎌倉などでの班行動の計画を立てる。
7~12	修学旅行について学んだことを実際に行動しながら見聞を広めることができる。	○班ごと協力して行動する。
13~17	資料や写真などを使いながら、自分なりの工夫をして修学旅行記をまとめることができる。	○修学旅行記をつくる。

3 成果

どのような経緯で鎌倉幕府が成立したのか、またなぜその場所につくられたのかパワーポイントをつかひながら、分かりやすく丁寧にご指導して下さったため、児童の鎌倉幕府成立の歴史や鎌倉寺社の由来等について理解が深まり、その後の調べ学習への興味関心も高めることができた。また、甲斐源氏についてもお話しくださり、自分たちのふるさと鎌倉とのつながりも知ることができた。そのため、調べ学習では、鎌倉寺社の由来等について、より意欲的に取り組むことができた。

○児童の感想

- ・源頼朝のことをいろいろとお話ししていただいたり、鎌倉にある神社のことを教えていただいたりしたので、楽しく修学旅行に行くことができました。
- ・写真をたくさんつかひ、ていねいに教えて下さったので分かりやすかったです。

1. 博学連携活動について

本校は、本年度2年生の宿泊学習の中で見学させて頂き、活用しました。内容として、本校は、1学年2クラス編成になっているため、各クラス毎で以下のように分けた。

- ①教育主事の案内で、常設されている縄文時代や戦国時代の山梨県の様子を資料を基に解説して頂く。
- ②昔の遊び等の体験コーナーを通して、体験学習を行う。〈生徒の自主的活動〉

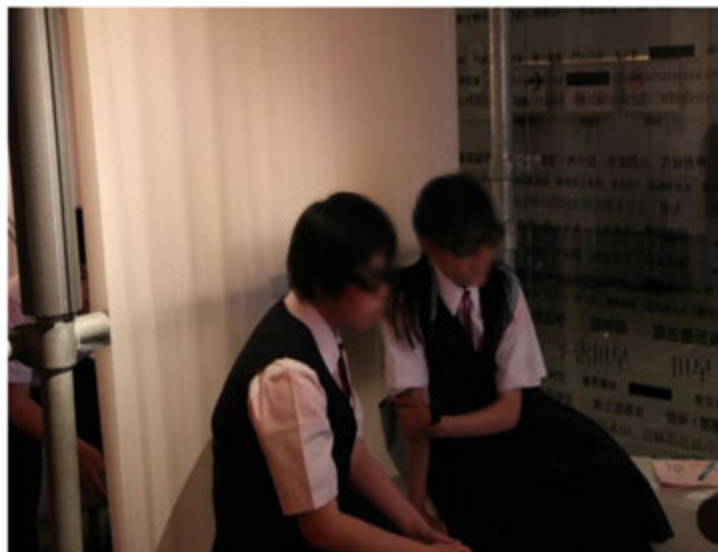
2. 博学連携活動の概要

- ①対 象 中学2学年(男子:27名 女子:26名 計53名)
- ②実施時期 6月1日 宿泊学習2日目 午前9時～午前10時(1時間程度)
- ③実施内容 上記を参照
- ④特記事項 日程の都合上、予定の時間よりも短い見学時間になる。
(理由)宿泊場所を出発する時間が遅れたため。

3. 見学上の注意事項

- ・常設展ガイドの時、メモを取る等で筆記用具をご使用の場合は、鉛筆又はシャープペンシルのみを使用する事。消しゴムは使用禁止。
(理由)展示物を保護する目的
- ・博物館内は、他のお客さん(観覧者)が居ることを前提にして、その場に応じた姿勢や態度で見学等をする事。

4. 活動の様子





5. 生徒の感想（振り返り）～振り返りアンケートより～

- ・昔の色々な物を学ぶ事が出来ました。具体的に、けん玉やメンコを使って遊びました。
- ・担当者の方の話をしっかり聞く事や、行動を素早くする事や、他のお客さんの失礼にならないなどのマナーやルールを守る事ができた。
- ・山梨県の歴史について、詳しく説明をしてくれたので多くの事をしっかり学べました。
- ・昔の遊びを体験できて、とても楽しかった。
- ・昔の遊びや、衣装の着替えの体験が良かった。

6. 成果と課題

< 成果 >

- ・解説に対する態度は、事前指導の効果もあり良かった。
- ・体験コーナーでの学習意欲が高かったので、これからもミュージアムキッド等の活用が有効であると考えます。

< 課題 >

- ・日程の都合上、予定の時間よりも短い見学時間になり、ワークシートを使った学習などの様々な活動を行う事が出来なかった。
- ・生徒の活動の様子を見ると、多くの活動を通して学習した方が良く思われる。

笛吹高校「博学連携」活動について

報告 笛吹高校 河西倫孝

1) 博学連携活動の経緯

本校は、山梨県立博物館に地理的に最も近い高校です。そのため平成17年度の博物館開館以来、博学連携事業の推進を図ることは本校の使命だと感じてきました。当初は、教員が博物館を訪問し、展示の様子や内容を知ること、何ができるかということを検討することから始めました。その後、学校で検討を重ね、総合的な学習の時間に取り入れることを決定しました。内容としては1年生全員を対象に、博物館を訪問することで博物館への認識や親しみを深めさせることを第一段階とし、さらに興味関心を持った生徒には学校設定科目「郷土研究」により1単位の増加単位を認定するという、二段階で行い、郷土について深い学びを行ってもらおうと意図しました。現在は継続的な事業として、毎年行っています。

2) 博学連携活動の概要

- ①対象 1学年
- ②実施時期 6月の総合的な学習の時間（全員）
7月～2月（希望者）
- ③実施内容 [別紙1]
- ④補足 6月 「出前授業講師派遣申請書」の提出
6月 「観覧料等免除申請書」の提出

3) 平成28年度「郷土研究」の主題

- 「甲斐の虎、武田信玄公」
- 「旧富士見村の水害について」
- 「甲府道祖神祭礼幕絵」

*本年度は参加者が少なく残念でした。
昨年は10名が研究を行いました。

4) 成果と課題

- ・山梨の歴史や民俗を概観でき、本物の資料を見ることができる。
→クイズラリー（ワークシート）の内容を深化させる。
- ・出前授業や博物館訪問時のガイドツアーにより、生徒の興味関心や理解を高めることができている。
→時間的な制約があるため、ポイントを絞っていく。
- ・「郷土研究」による増加単位の認定。
→校内のレポート指導体制を見直す。
最大の課題 ⇒ 博物館への定期的な訪問

1年 総合的な学習の時間

博物館学習と学校設定科目「郷土研究」について

1 博物館学習

今後の予定

博物館学習① (県立博物館学芸員さんによる出前授業)

6月1日(水) 5校時 視聴覚室

※総学テーマ「山梨を知る」に沿った内容を聞き、県立博物館に行って調べたいテーマを各自で決めます。

博物館学習② (ガイドツアー・クイズラリー) *今年度は残念ながらツアーは実施できませんでした。

6月8日(水) 県立博物館

※ガイドツアー・クイズラリーを通し、テーマについての博物館学習レポートを各自で作成します。

○実施形態は、2グループ(AとB)に分かれて実施

3・4校時 Aグループ：1・4・6・7組

*3・4校時と5・6校時の授業を入れ替えて実施します。

5・6校時 Bグループ：2・3・5・8組

*授業の入れ替えはありません。

博物館学習③ (博物館学習のまとめ)

6月15日(水) 5校時 ホームルーム

※各自のテーマについての博物館学習レポートをまとめ、提出します。

2 学校設定科目「郷土研究」

この調査で各調査テーマに興味を持った人は、発展学習として学校設定科目「郷土研究」で更に調査・研究することが可能です。1単位の増加単位に認定されますので、積極的に担任の先生に希望の旨を伝えてください。

平成28年度 1学年総合学習

博物館学習

Aパート:1・4・6・7組用

1年 組 番 氏名

- 日時: 6月8日(水)3・4校時 *5・6校時と入れ替え
- 持ち物: 博物館学習レポート・総学ファイル・筆記用具・雨具(雨天時)
- 博物館見学の流れ

10:55 集合完了(正門) *クラスごと2列で整列 ・列を崩さず博物館へ移動。 ・到着したら、竹林前にクラスごと2列で整列し、入館する	
前半: 1 ・ 4 組	後半: 6 ・ 7 組
<u>11:25 ガイドツアー</u> ・学芸員の先生の話聞き、メモを取る。 *今年度は実施できませんでした。	<u>11:25 クイズラリー(各自で)</u> ・クイズラリーをしながら、各自のテーマについて調べる。
<u>11:55 クイズラリー(各自で)</u> ・クイズラリーをしながら、各自のテーマについて調べる。	<u>11:50 ロビー集合</u> <u>11:55 ガイドツアー</u> ・学芸員の先生の話聞き、メモを取る。
12:30 竹林前にクラスごと2列で整列 全員揃ったクラスから帰校	
*博物館学習レポートは6月15日(水)5校時に完成させ、提出になります。	

●見学上の注意

- ①大声を出したり、走ったり、床に座り込んだりなど、マナーに反し、他のお客様の迷惑になるような

ことをしない。（※貸し切りではありません）

②筆記用具はシャーペンのみ。消しゴムは使用できません。

③展示品やガラスケースに手を触れない。

④記入時に、展示ケース（ガラス）や、壁・床などを下敷き代わりにしない。総学ファイルを腹部につけて、ボード代わりにして書く。

⑤学習目的での見学なので、遊びのコーナー（体験コーナー）は利用できません。

●クイズラリー実施上の注意

①パンフレットの問題の青い字が「コーナー番号」「コーナー名」を表している。

②展示を見ることが目的なので、人に聞いたり答を写したりせず、自分の目で展示物を見て答える。

③全員が1問目から取り組むと混み合うので、空いている場所からスタートする。

④終了後は、答合わせコーナーで自己採点する。

* 集合時間に間に合うようにする。すべて終わらない場合は、できたところだけ自己採点する。

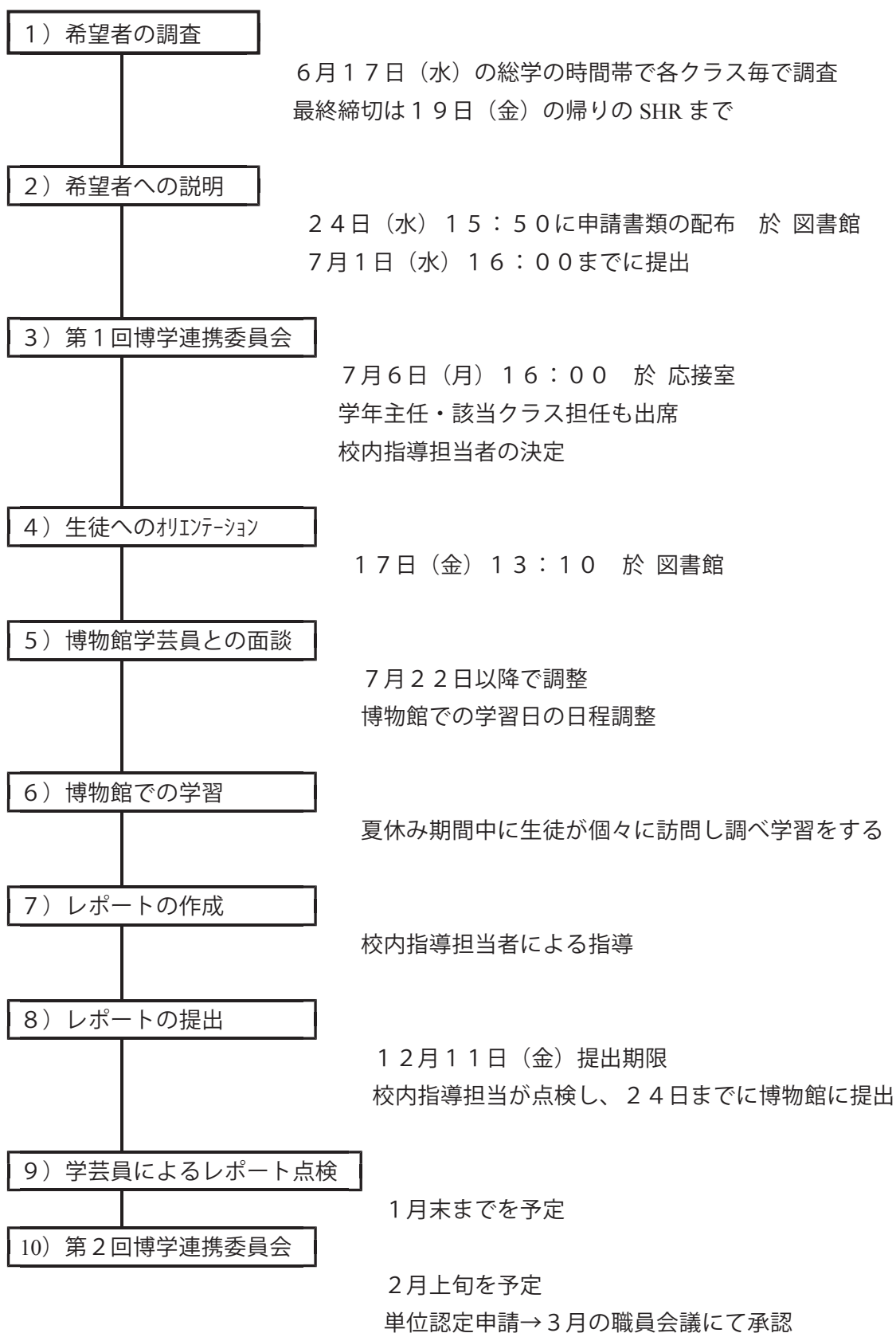
●その他

①各コーナーのタッチパネル等も活用するとよい。

②わからないことなど質問したいことがあったら、学芸員の先生や補助員の方に質問する。

③学芸員の先生や、引率の先生の指導に従うこと。

博学連携 学校設定科目「郷土研究」の指導について(案)



信玄堤めぐり

水に取り組む

曇るだけで三寸の水が溢れ、
月夜だけで地面は灼ける。
山に囲まれた甲斐で生きること、
水と生きることであった。

山梨県立博物館

信玄堤公園

三社神社

高岩

石積出し

将棋頭

霞堤

堀切

山梨県立博物館



衛星写真

上空800kmから撮影した衛星写真で山梨県の地形概要(山、川、盆地、扇状地等)をとらえます。

水に関する展示を見学(ガイドもありません)

- ・洪水と干ばつ
- ・水への祈り(天津司舞、御幸祭)
- ・水をコントロールする智慧と技術(測量器等)

武田家朱印状：武田家が堤防工事に用いる材料の調達を命じた文書。
御幸祭川除の石：洪水を防ぐために行われる御幸祭(みゆきまつり)で、水神を鎮めるために使用される石。

測量器：江戸時代、優れた土木技術者であった窪田幸左衛門が用いた測量器。持ち運びに便利なように、簡単に分解・組み立てが出来る仕組みとなっている。



御幸祭川除の石



測量器



水に関する講座を受講
当館学芸員が子ども向けにわかりやすく楽しく説明します。

お食事

お庭でお弁当

天気がよときは御坂山地・南アルプスを眺めながらのお弁当がおおすすめです。
雨天の場合には生涯学習室や体験学習室をご利用頂くことも可能です(要相談)。



敷地面積約65,000坪の広いお庭には、160種類、約40,000本の樹木が植えられ、四季を通じて自然を楽しめます。シンボルツリーの「ヤマナシ」の木は、県名「山梨」の由来にもなっています。昔は、ヤマナシがよく取れていたことから、この名がつけられたとも言われています。

現地を見学してみよう!



甲府盆地を守る治水の要。憩いの場となっている信玄堤公園では、堤を強固にするために江戸時代に植えられたとされるケヤキやエノキの大木を見ることが出来ます。

信玄堤公園



高岩

高さ50メートルほどもある自然の断崖で、御勅使川と釜無川が合流した流れを受け止めます。



聖牛



堤防を、水流や流木などから守るために設置します。山梨で育まれた治水技術を代表する構造物です。

堀切

竜岡台地を掘り抜いて人工的に造った流路。

将棋頭

御勅使川の流れを2つに分流して水勢を弱める役割を果たしたとされています。



霞堤

複数の堤防が連続せざるよう並んだもので、手前の堤防が決壊しても奥の堤防で水流をくい止めるとともに、堤防の間に水流を逃がすことによって、その力を弱めて、大きな被害を防ぎます。

石積出し



御勅使川扇状地の最上流部に設けられた石の堤防。御勅使川の流れを北側に向け、高岩の西側で釜無川と合流させる役割があるとされています。

近年では、石積出しや将棋頭は集落や耕地を守るために設けられたと考えられています。

山梨県立博物館の活用方法



はじめに

山梨県立博物館の目指す大きなテーマの一つに「博学連携」があります。博物館と学校が望ましい形で連携、協力を図りながら、子どもたちの教育を進めていこうという取り組みです。子どもたちが郷土の歴史に興味を持ち、郷土への愛着を抱くことを目指し、学校と博物館とが協力して、博物館の「もの」や「ひと」や「情報」を積極的に活用することに努めていきます。

いろいろな活用方法

山梨県立博物館には、以下に示す①から⑤のようにさまざまな活用方法があります。利用についての詳細は当館ホームページをご覧ください。山梨県立博物館（055-261-2631）まで直接お問い合わせください。

①博物館に児童生徒を連れて行く

何といっても生の教材に直接ふれることは、効果的な学習方法はありません。平成22年度には、小学校81校、中学校29校、県立学校29校、合計145校7,200人あまりが来館し、見学や学習を行いました。今年度は昨年度以上に多くの学校が来館しています。

※校長名で観覧料の免除申請を行うと常設展は無料になります。（団体、グループ、学校の課題としての個人見学などいずれも可）



②博物館の「もの」を使ってみる

学校への貸出教材〔ミュージアム・キット〕を多数をご用意しています。

戦国時代キット

鎧兜、火縄銃、太刀

旅姿キット

菅笠（男女）、旅の服装（男）、柳行李

江戸時代キット

武士の服装（袴）、太刀（大小）
町人の服装（男女）、寺子屋本

石臼

実際に使用することができます。昔の道具体験や、食べ物作りなどにご利用ください。

博物館関連書籍

博物館図録や研究紀要、過去に開催した特別展などの図録です。



ミュージアムキットが出来ました！
甲斐国関係古代木簡
レプリカ4点セット

教科書で学ぶ古代木簡を実際に手にとって学習できます。1200年前の人が書いた文字を子どもたちは解読できるでしょうか？

③博物館の「ひと」を使ってみる

博物館職員が学校におじゃまして〔出前授業〕を行っています。社会科や総合的な学習の時間、校内研究会、PTA研修会などでご利用いただいています。費用はかかりません。下記のテーマを参考に先生方のねらいに応じた内容で行いますので、ぜひご相談ください。

出前授業のテーマ例

- 山梨の歴史
- 昔の道具を体験しよう
- 小・中・高生のための古文書講座
- 学校周辺の歴史
- 武田信玄
- 信玄堤
- 富士川舟運
- 戦争関係（甲府空襲、大月空襲）
- 富士山世界遺産関係
- 浮世絵（北斎と広重）
- 甲府城
- 明治40年の大水害
- 甲府班別グループ学習の見所
- 修学旅行事前学習（鎌倉・京都・奈良）
- 職業講話（学芸員の仕事）

※すべて小・中・高、教員、PTAのいずれにも対応します。

写真は、「昔の道具を体験しようー養蚕のしくみと昔の道具ー」の出前授業の様子



④まず先生が博物館に親しんでみる

ティーチャーズクラブに入会するとすべての企画展と常設展が無料で観覧できます。県内の学校（小中高特）、教育機関にお勤めの教職員の方ならなどでも会員になれます。入会はホームページから申込用紙をダウンロードしてください。

【会員特典】

- 会員証の発行。（入会費・年会費はありません）
- 教員向けの研修会の実施（任意参加）
- 常設展示・企画展示の視察の際、観覧料を免除
- 貸し出し用のミュージアムキット等を優先して貸出

⑤研究会や校内研などによる先生方の視察

博物館では先生方の研修による視察を受け入れていきます。企画交流課までお問い合わせください。

※その他ご不明な点などがございましたら、お電話等でお問い合わせください。

かいじあむ
YAMANASHI PREFECTURAL MUSEUM
山梨県立博物館
企画交流課
〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1501-1
Tel : 055-261-2631 Fax : 055-261-2632
URL : <http://www.museum.pref.yamanashi.jp>